

今月のうた

♪ ゆきとなかよし ♪

- ① そらからゆきがあいさつ チラチラ サラサラリン こんにちは
おにわがしろく になりました。
* ゆきゆき ゆきゆき ゆきゆきゆきゆき ゆーき
- ② ぼくが一つつつたゆきだるま エッヘッヘ オッホッホン いばってる
おひげもしろくつけました。
* くりかえし
- ③ みんなあつまれげんきよく トテチテタ ラッタ タ ゆきがつせん
おててがあかく になりました
* くりかえし
- ④ いぬもなかまにはいります ゴロゴロリン クルクルリン ころがると
おそらがあおく みえました
* くりかえし

絵本紹介コーナー



< 今月のおすすめ絵本 >

おこりんぼママ

作 ユッタ・バウアー 訳 小森香折

ママがペンギンの子どもを怒るところからはじまるという
少しショッキングなはじまりかたをします。
怒られた子どもは体がばらばらになっていいます。
子どもはどうしたらいいかわからなくなってしまい体だけでなく心も居場所が
なくてさがしまわります。
親も人間だしついつい怒りすぎてしまうこともありますよね。
読み終えた時にもういちど中の表紙を見てください。
しっかり目をつむって抱き合う親子のすがたがあります。
親子の心がひとつになる絵本です。

保育所とものにのホームページを開設してい

アクセスはこちら・・・<http://tomoni.ist.hokudai.ac.jp/link.html>



ともにだより

平成24年1月4日
北海道大学事業所内保育所
ともに

「あけまして おめでとうございます！」

新しい年の幕開けです。「ともに」も2年目のお正月をむかえることができました。
今年は「龍年」です。宙を舞う龍のように元気にたくましく育ってほしいと願っています。
また今年度もあとのこすところ3ヶ月あまりとなりました。卒所や進級にむけての締めく
くりの時期でもあります。この一年子どもたちがどのように成長してきたか振り返りながら、
はぐくまれた力を次へ伸すステップへとつなげていけるよう見守っていきたいと思います。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

1月は羽根つき・たこあげ・カルタ・すごろく・そしておもちつきと日本ならではの伝承遊び
をたくさんし経験させたいと思っています。お正月遊びは世代を超えて楽しめます。
親から子、祖父母から孫へと伝承されてきた遊びを大切にしたいですね。



1月の予定

6日	金	お餅つき 10:00~
18日	水	給食展示 見学説明会 18:30~ 1月は誕生児童がいないのでお誕生会はありません。
23日~ 31日		個人懇談週になっています 16時~19時までの時間帯で・す 詳細は別紙配布いたします。
27日	金	避難訓練
10日~身体測定週になっています。		

★午睡用バスタオル 2枚は毎週金曜日に洗濯をお願いいたします。

★18日(水) 18:30より ともに見学説明会を致します。

入所を希望されているかたがいらっしゃいましたらご紹介ください





12月のあんな事 こんな事



12月7日 12月生まれのお誕生会をしました！

12月生まれのお友達は、Tくん、Eちゃん、Rくん、Nくんの4名でした。お誕生日 おめでとう！Tは2歳、Eちゃんは4歳、Rくんは5歳、Nくんは6歳になりました。今月は「ともに」ならではのクリスマス会がある月とあって、誕生会もファンタジーの世界へのスタートとなりました。皆で作った小人さんやモミノキの壁面にお祝いされて、4名の誕生児の天使たちはチョッピリ緊張気味でしたがなんだか嬉しそう！いつものケロとポンも登場してクリスマス会にむけてのファンタジーストーリー「オーオロラの鍵」のパネルシアターをみせてくれました。新聞王国のシンくんは新聞紙で作る簡単クリスマスツリーをおしえてくれましたよ。早速皆で作りました。



12月21日「ともに」クリスマス会でした！



♪北の国から 赤いソリがくるよ…♪「ともに」恒例のクリスマス会。1ヶ月かけてとっぷりファンタジーの世界にひたりその日を心待ちする子どもたちの顔を見ているだけでまわりの大人たちも童心にひたり、忘れかけていた大切なものを思い起こさせてくれるクリスマスならではのこともかもしれませんね。今年は「オーロラの鍵」をめざし優しい小人に変身していく18人の小人たちの過程をワクワクドキドキしながら見守ってきました。雪のお城に招待され子どもたちは小人の衣装を身にまといクリスマスパーティーに出席です。マリア様も登場し「優しい心の灯火」「思いやりの心の灯火」「ありがとの心の灯火」3つのともにの灯火をいただきました。サンタさんも登場しプレゼントももらい皆嬉しそう。その後みんなでバイキングの食事、沢山の豪華メニューにうっとり。どれからだべようかな～の連発でした。3時のおやつもサンタとトナカイの「ともに」ならではの一人ひとりのケーキは最高！一日とっぷり夢の世界にひたったクリスマス会でした。



はなぐみだより



新しい年のスタート…はなぐみの子どもたちも笑顔でスタートです。

12月は風邪ひきさんが目立った月でした。体がまだ寒さに慣れていない子どもたち。10分でも15分でも天気の良い日はお庭に出て少しずつ外気になれていきました。今月からは本格的な雪遊びが始まります。体一杯雪と友達になって短い北海道の冬を満喫させたいと思っています。0歳の子どもたちは本格的に離乳食が始まっています。みなよく食べよく動くようになりました。遠くから大きな声を出したり、いやなことをされると泣いたり感情面も少しずつ芽を出し始めました。1歳児は2～3人のお友達と同じもので遊んだり、玩具の取り合いもではじめてきました。お友達を意識する芽が育ってきたようです。2才児は言葉もしっかりしてきて共通のことを言葉を通してお話できるようになり感性の芽が少しずつ芽を出してきたようです。一人ひとりの芽を大切に見守りながら引き続き保育を進めて生きたいと思えます。またクリスマス会も小さいながらもファンタジーの世界を体感できたようにおもいます。サンタさんに抱かれて泣く子はいませんでした！今後も節分・ひなまつりなど行事がありますが無理なく少しずつ行事に参加させたいとおもっています。



にじぐみだより



少しずつ雪が積もり、園庭が雪景色になりました。小さな雪だまから、何人かで力を合わせなければ動かないくらいの大玉を作ったり、築山の斜面を尻滑りやソリ滑り、後半はソリに雪をたくさん積んで引越ししたり、きれいな氷を集めたり…遊びはどんどん広がって、見ているだけでも楽しく、思わず笑顔になってしまいます。はなぐみさんをソリに乗せて引っ張ることや、築山に登れず困っているお友達を助けてあげる姿も、とても頼もしいにじぐみです。そして12月は、みんなが優しい心を持った小人になり、雪のお城のクリスマスパーティーに招待されました。園庭に落ちていた黒い鍵から始まるストーリーは、ずっと皆の側にあってドキドキワクワクだけではなく、会話になり、相手を思う気持ちになって心に広がっていました。